

## 情報公開文書

### ◆ 「ピロールイミダゾール含有ポリアミドによる膵癌患者血液由来の KRAS 変異アレル濃縮法の検討」

#### 1. 研究の対象となる方

2009 年 1 月から 2019 年 12 月までに当院で膵癌の外科的切除を受けた患者さん

#### 2. 研究目的・研究の方法

我々は、標的遺伝子の DNA 配列に特異的に結合するピロールイミダゾール含有ポリアミド (PI polyamide) に biotin を付加修飾した PI polyamide-biotin を用いることで、血液中に存在する微量循環腫瘍 DNA (ctDNA) を濃縮する技術を新たに開発しました。この濃縮法は、がんの早期発見、術後評価の指標などの臨床応用が期待されます。今回、当院で膵癌の外科的切除を行った患者さんの保存血液サンプルを対象として、この濃縮法を用いた ctDNA の検出感度を検討します。研究結果は学会発表や論文投稿を行い、公表する予定です。

#### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報: 当院におけるカルテ番号、生年月日、イニシャル、保存血液、外科的切除検体、病理診断結果 等

#### 4. 研究が行われる機関および研究者名

千葉県がんセンター

研究責任者	内視鏡科医長	北川 善康
分担研究者	研究所研究員	奥村 和弘
分担研究者	研究所研究員	中村 洋子
分担研究者	肝胆膵外科部長	高山 亘
分担研究者	研究所長	永瀬 浩喜

#### 5. 研究責任者

研究責任者 千葉県がんセンター 内視鏡科 医長 北川 善康  
〒260-8717 千葉市中央区仁戸名町 666-2  
TEL 043-264-5431(代表番号)

#### 6. 個人情報の保護について

利用する情報からは患者さんを直接特定できるような個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌等での発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できるような個人情報は利用しません。

#### 7. 研究の資金源および利益相反について

本研究に必要となる研究費は、文部科学省および日本学術振興会が交付する科学研究費により拠出します。そのため研究資金は公共の競争的外部資金を用いるため、本研究実施に関連して、研究者が開示すべき利益相反はありません。当センターにおける利益相反の管理は、千葉県がんセンター利益相反委員会が行っております。

#### 8. この研究は倫理審査委員会の承認が得られています

本研究は当院の倫理審査委員会で審議され、研究の承認が得られています。

#### 9. この研究にあなたの情報を利用して欲しくない時はご連絡ください

あなたの情報を研究に用いられることを、あなたまたは代理人の方にご了承いただけない場合は研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。研究に参加しなかった場合でも、患者さんに不利益が生じることは全くありません。

また、本研究に関するご質問がある場合も下記へお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書および研究の計画に関する資料を閲覧することができますのでお知らせください。

研究責任者 千葉県がんセンター 内視鏡科 医長 北川 善康

〒260-8717 千葉市中央区仁戸名町 666-2

TEL 043-264-5431(代表番号)